

宝塚の地形は大阪湾から大きく奥に入り込み、北側に中山連山（長尾山系）、西側に六甲山系があり直角に山並みの屏風で囲まれています。その真中を武庫川が流れ下り、西側に河岸段丘が発達し、東側には伊丹台地が形成されています。この地形構造が宝塚特有の景観を作っています。

山々の山麓、武庫平野に住宅地が形成され私たちが住んでいます。山裾や中腹には社寺や文教施設なども立地し、山と川と平地が一体となった景観は他市には見られない宝塚特有の特色です。

世界的ブランドとして宝塚歌劇がありますが必ずしも市民生活に深くかかわりがあるものでもありません。

唯一他市に誇れるものは「地形・地勢条件」と「景観」です。地形・地勢は景観や風景をつくり、歴史・文化を生み出し、環境を育てます。

直角に囲まれた山々と真中を流れる武庫川とその支流が、3次元（3D）立体景観と文化的景観を創り出し、宝塚の重要な個性と魅力資源であるといえます。

これまでこの主要な魅力資源を上手に活用してきたとは言えません。私たちはこの地形の上に暮らし生活していますが、この特徴を理解し上手に活用することによってより豊かな生活を享受できると考えています。これらの地形や山々が急峻であれば壁のように感じますが、宝塚の山々はほど良い角度で見ることができ、都市景観にゆとりや豊かさを提供しています。

また、市街地に残された樹林や緑地はかつて手塚治虫が昆虫採集をした森のように、市民生活に潤いと安らぎを与えてくれます。

これら宝塚南部市街地の景観構造を以下の視点から調査分析し、景観まちあるきコースを提案しました。

①主な視点場（景観眺望ポイント）から「日本の名所への角度調査結果（景観の構造・樋口忠彦）」を応用し宝塚の景観分析を行いました。

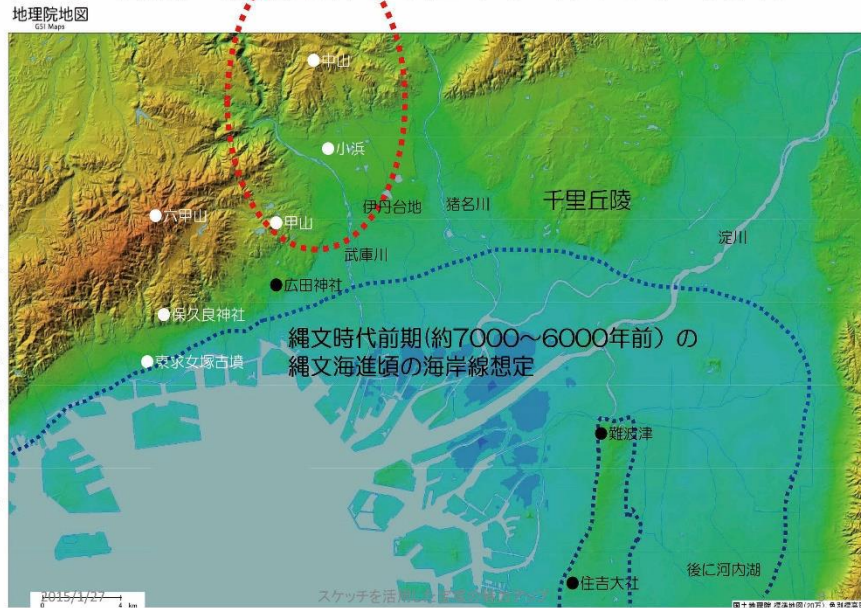
- 視点場：主な景観眺望ポイント
- 仰角：見上げる角度5°～12°
- 俯角：見下ろす角度5°以下
- 見合う景観

②地区計画や景観計画特定地区など景観づくりに配慮されている地区の概要把握。

③お勧めコースとして提案しました。

●宝塚の地形的特徴

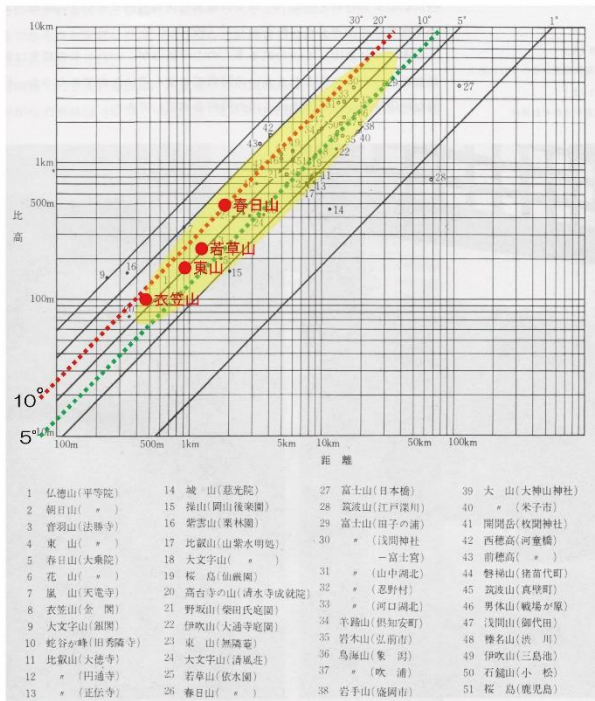
宝塚の風景・景観条件 見上げる・見下ろす・見合う



●景観の構造分析結果より

日本の名山と視点場からの仰角（景観の構造・樋口忠彦より）

- ①庭園から望まれる名山のほとんどの仰角は12°から5°の範囲で平均8.8°±1.1°
- ②代表的な眺望点から望まれる名山の仰角は平均9.1°±1.5°
- ③日本人が親しんできた山は8.7°±1.0°
- 仰角5°以下の山スカイラインが視覚的に卓越した重要性をもつ。頭部の上下運動を伴うことなく、眼球運動のみで容易に山容全体をのぞくことができる山である。
- 仰角9°近傍の山スカイラインばかりでなく、山腹にも興味がもたれる。視野としては山容全体を容易に見越すことができ、スカイラインも容易に望める山である。



\*調査分析・冊子発行主体：宝塚景観まちあるき会 代表 清水光雄 問い合わせ先：副代表兼事務局長 田村博美 TEL&FAX:0798-53-3906 E-mail: tam-hiro@gaia.eonet.ne.jp PDF 版掲載予定：宝塚むくスケッチ会 HP:mukosketchkai.jimdo.com

●宝塚の景観調査分析

宝塚の景観を①視点場 ②見上げる角度（仰角）③見下ろす角度（俯角）④見合う景観 ⑤面白い変わった景観・風景 ⑥困った景観 ⑦宝塚の主な景観軸 ⑧地区計画及び景観計画特定地区・都市景観形成地域の決定地区の状況

⑨保護樹木、自然林 ⑩民話といった点から調査分析しました。

そのうえでお勧めの散策コース、眺望コースを地図上で記載しました。

市民の皆さんが街に出歩くことがより良い景観づくりをサポートすることにつながります。

ぜひこの冊子をもってお出かけ下さい。

■地図の凡例

視点場（見る場所）：● 景観方向：→

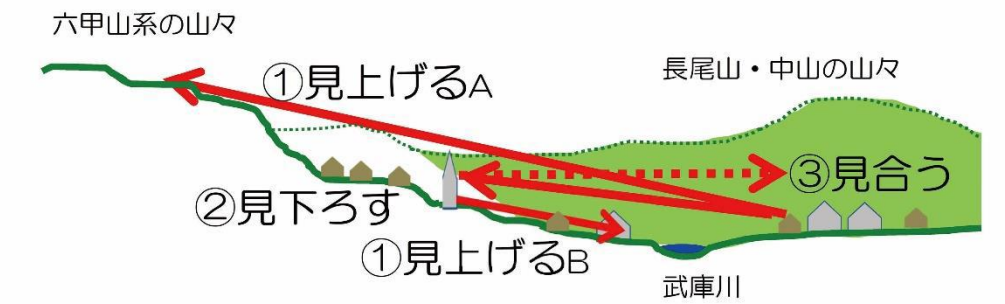
- 見上げる ▲
- 見合う ▲
- 見下ろす ▼

景観ポイント：★ 面白い景観 ※ 変わった景観 ※ トイレのある施設：☆

交番 ★

- ①仁川地区
- ②武庫川地区
- ③逆瀬台地区
- ④逆瀬川地区
- ⑤宝塚駅前地区
- その1 ①～④
- ⑥宝塚駅前地区
- その2 ⑤～⑬
- ⑦すみれが丘・川面・清荒神地区
- ⑧売布・小浜地区
- ⑨中筋地区
- ⑩安倉地区
- ⑪中山台地区
- ⑫山手台地区
- ⑬雲雀丘地区
- ⑭長尾台地区

宝塚はたぐいまれな3D立体景観都市

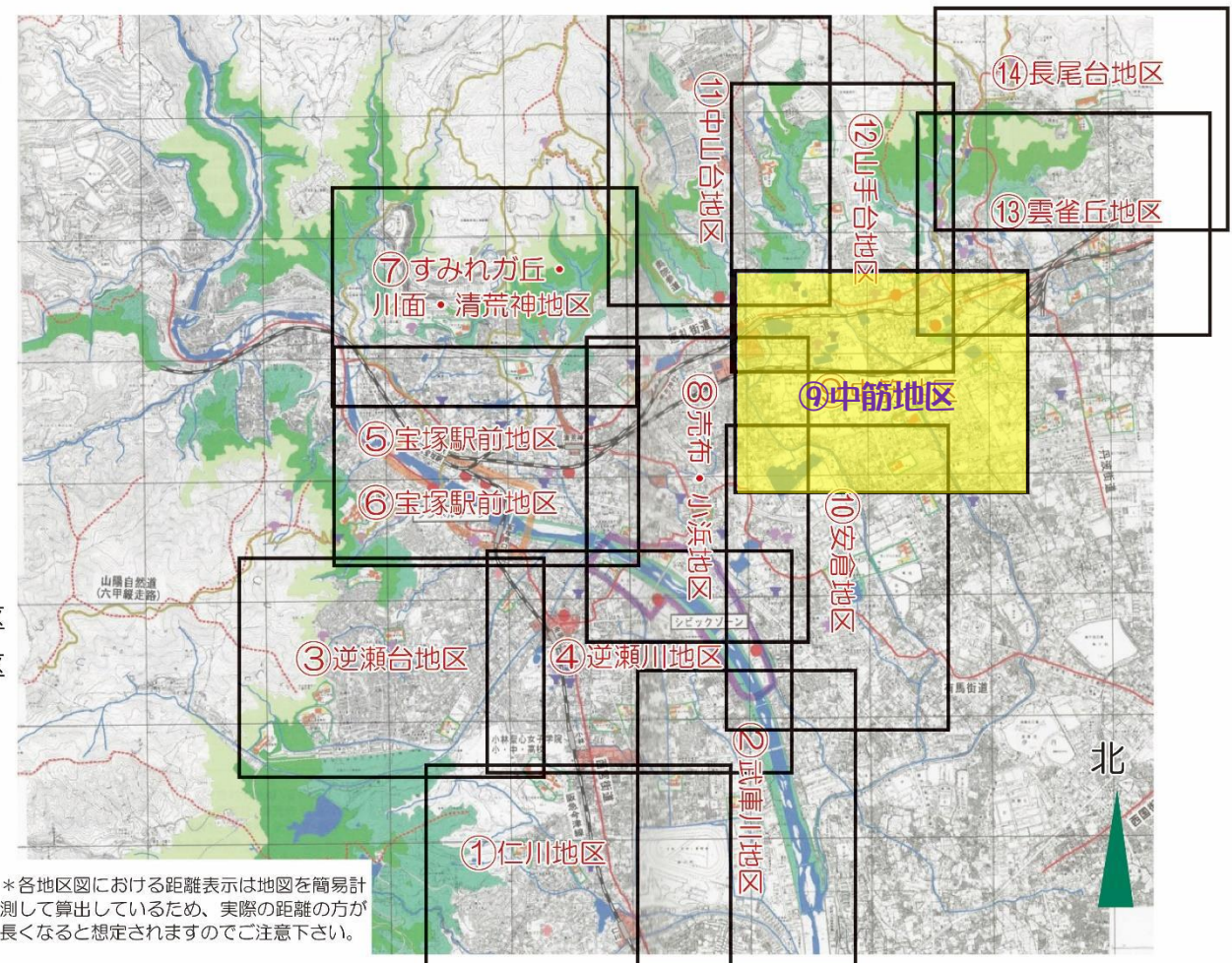


2015/1/27

スケッチを活用した宝塚の魅力アップ

20

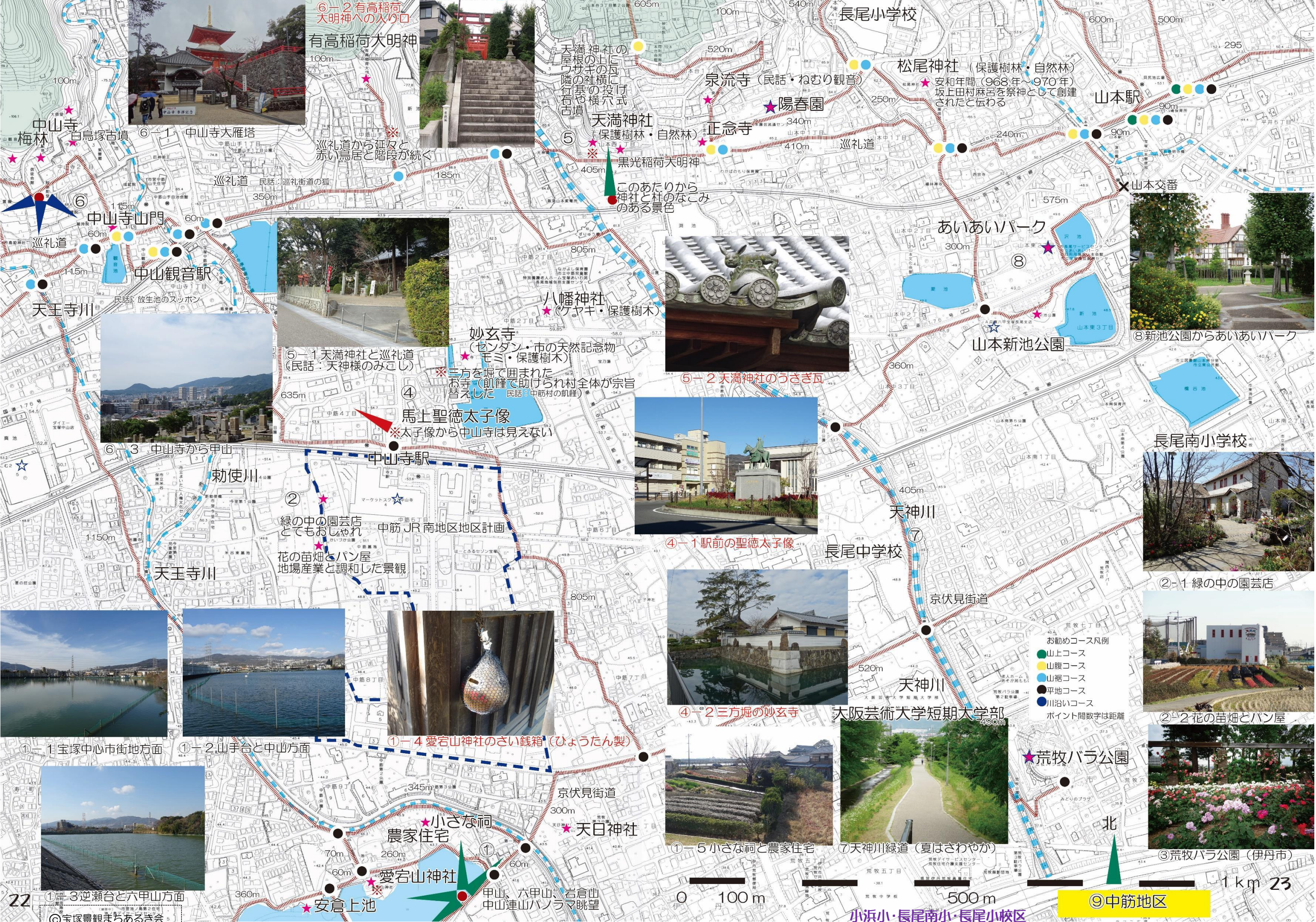
●宝塚市南部市街地 14 地区区分



\*各地区図における距離表示は地図を簡易計測して算出しているため、実際の距離の方が長くなると想定されますのでご注意ください。

\*調査には不十分な点もあるかと思いますが、またおすすめコースはあくまで会の判断で提示していますので責任は当会にあります。なお本冊子を利用して散策などされる際には住宅地の環境に十分留意し、ご近所の迷惑にならないようお願いいたします。





⑥-2 有高稲荷大明神への入り口  
有高稲荷大明神



⑤ 巡礼道から延々と赤い鳥居と階段が続く



⑤-2 天満神社のうさぎ瓦



陽春園



⑥-1 中山寺大雁塔



④ 馬上聖徳太子像



山本神社



山本新池公園



天王寺川



②-1 緑の中の園芸店



②-2 花の苗畑とパン屋



③ 荒牧バラ公園



天王寺川



④-1 駅前前の聖徳太子像



④-2 三方堀の妙玄寺



⑦ 天神川緑道



天王寺川



①-5 小さな祠と農家住宅



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



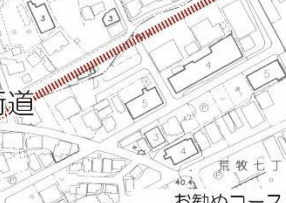
天王寺川



①-4 愛宕山神社のさい銭箱



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



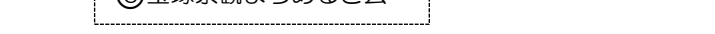
①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



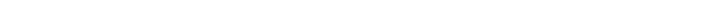
①-3 逆瀬台と六甲山方面



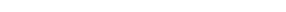
⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



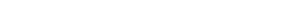
⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



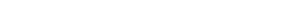
⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



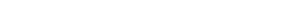
⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



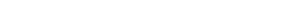
天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川



①-3 逆瀬台と六甲山方面



⑦ 天神川緑道



⑨ 中筋地区



天王寺川